

新入生としての決意を語る久保さん



短大生としてのスタート

4月4日 敦賀短期大学入学式

敦賀短期大学の入学式が行われ、今年は41人の新入生が新生活のスタートを切りました。三橋昌幸学長が「授業をおろそかにせず、真摯に学業に励んでほしい」と式辞を述べると、新入生を代表して久保楓さんが「先生方に助けをもらいながら勉学に励み、立派な社会人になるための準備をしていきたい」と、新たな学生生活への決意を述べました。

恋娘と小枝を交換する来場者



桜の小枝に願いを込めて

4月3日 花換まつり

4月1日から15日まで、毎年春の風物詩「花換まつり」が金崎宮で行われました。今年は恋の成就だけでなく、東日本大震災からの復興の願いも込めて行われたこの花換まつり。来場者は、「花換えましょう」と声を掛け合いながら、復興祈願の絵馬が付いた桜の小枝を福娘と交換しました。また、和服姿の恋娘たちが参加した「恋の成就祈願祭」や、初の婚活イベント「花換縁結び」など、期間中は多彩な催しが行われ、たくさんの来場者で賑わいました。

記念証と記念品を贈呈



5万人目の入館者となった長坂さんご夫婦



街角スケッチ

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。
広報広聴課 ☎22-8112



5万人達成おめでとう!

4月12日 「人道の港 敦賀ムゼウム」
入館者5万人達成セレモニー

敦賀港に上陸したポーランド孤児やユダヤ人難民の歴史を紹介している「人道の港 敦賀ムゼウム」の入館者が5万人に達し、同館でセレモニーが行われました。平成20年3月の開館から、3年あまりでの達成となりました。5万人目となったのは、愛知県から旅行で訪れた長坂八郎さん・多恵子さんご夫婦。河瀬市長から記念証と記念品が贈られると、「ムゼウムに来たのは初めて。5万人目になれるなんて、とても幸せなことで驚いています」と喜びを語りました。

TOPICS

第6次敦賀市総合計画 前期基本計画を市長に答申

平成23年度から10年間のまちづくりの指針となる「第6次敦賀市総合計画」の前期基本計画がまとまり、4月27日、総合計画審議会会長の川上洋司氏（福井大学大学院教授）が、市役所で河瀬市長に答申書を手渡しました。

今回答申された前期基本計画は、平成23年度から27年度までの5年間を期間としています。この中では特に、3月11日に発生した東日本大震災を受け、防災体制や原子力行政について、市民の安心・安全の確保を前提としてまちづくりを進めていくことが強調されています。

今後は、この前期基本計画に沿って、具体的な施策等が行われていきます。



市長に答申書を渡す川上会長

誓いの言葉を述べる下野さん



未来の看護師たちが誕生

4月6日 市立看護専門学校入学式

市立看護専門学校で入学式が行われ、33人（男性4人、女性29人）が看護師を目指し、第一歩を踏み出しました。清水るみ子学校長は、東日本大震災の発生に伴い、災害時の救護活動と心のケアの大切さに触れながら、「健康の担い手として、強い意志を持って頑張ってほしい」とあいさつ。入学生を代表し、下野結花さんが「看護の道は簡単ではないが、誇りを持って着実に歩いていきたい」と誓いの言葉を述べました。

気比神社に向かう子どもたちと区民の皆さん



刀根に春の訪れ

4月3日 気比神社の春祭り

刀根区に春を告げる「気比神社の春祭り」が行われました。この祭りは、仲哀天皇が敦賀へ行幸したとき、刀根にしばらく立ち寄ったという言い伝えが元になっています。この日はまだ肌寒く、厚着をした地区の子どもたちが、桂の枝で作った笠をかぶり、わら束と杖を持った独特の姿で刀根区公会堂を出発。寒さを吹き飛ばすように元氣よく声を上げながら区内を練り歩きました。その後、神社を参拝し今年1年の豊作を祈願しました。

辞命を受け取る女性消防団員



消防団初の女性団員です

4月2日 女性消防団員辞命交付式

敦賀美方消防組合の敦賀、美浜、三方の各消防団に、初の女性団員が任命されることになり、同組合の消防本部で辞命交付式が行われました。今回任命されたのは、20～44歳の計26人。谷本隆之消防協会長が「女性ならではのきめ細やかさで任務に当たってほしい」と激励すると、代表の宮下阿佐子さんが「生まれ育ったまちのため、自分自身を磨きながら頑張っていきます」と決意を述べました。女性団員はこれから、火災予防の広報活動などを行っていきます。